

ZOOM講演会

アジアを 戦場にさせないために



ロシアのウクライナ侵攻で、ウクライナ全土が戦場になり 11 か月になります。国連による、ウクライナからの即時撤退決議を無視し、ロシアは侵攻を続けています。ウクライナでは、多くの住居やインフラが破壊され、人々は追われ殺されています。

岸田内閣は、ロシアのウクライナ侵攻、米中対立の高まり、北朝鮮のミサイル開発などから来る国民の不安感を利用し、「抑止力」を強めるとして、「敵基地攻撃能力の保有」や「継戦能力」の強化など、米国の要請に応じた大軍拡を進めています。これで国民の不安が解消するのでしょうか。「抑止力」=相手が脅威を感じて手出しをしないほどの軍備とは、どれほどのものでしょう。

東アジアの緊張の原因は、勢力を拡大しようとする中国と、この地域における影響力を維持しようとしている米国との対立です。日本は日米安保条約の下、地理的にもその最前線に立たされ、米中対立がエスカレートすれば、攻撃的兵器を持てば持つほど米軍基地を置く日本が戦場になる危険性がきわめて大きくなります。米国と中国の本土は無傷で、台湾と日本が戦場になって争われることにならないのでしょうか、ウクライナのように・・・。

軍備拡大とは違う解決の道、緊張をエスカレートさせない道、憲法9条を持つ日本が平和国家として誇れる道はないのか、一緒に考えましょう。

講師：羽場 久美子さん

《青山学院大学名誉教授、世界国際関係学会（ISA）・アジア・太平洋会長》

と き：'23年2月12日（日）

15：30～17：30

ところ：船橋市東部公民館第2-3会議室

（新京成新津田沼駅徒歩4分、JR津田沼駅徒歩3分）

☐ZOOM 利用の方は、kagamiura237@gmail.com までお申し込み

ください。追って、URL をお送りします。

主催：千葉県アジア・アフリカ
ラテンアメリカ 連帯委員会

協賛：日中友好協会東葛飾支部・同千葉支部

日本アジア・アフリカ
ラテンアメリカ 連帯委員会

《問い合わせ》080-6687-1594（上田）